

山形県 高校入試情報

令和7年度山形県入試の全体傾向

- 大問構成、問題数について
- 大問数：地2，歴2，公2の計6問（昨年と同じ）
- 小問数：39問（昨年は41問）
- 文章記述問題は6問（昨年は9問）
- 出題傾向について
- 小問数が比較的多いが，文章記述問題を含めて基本知識を問う問題がほとんどなので，基本を定着させておく。
- 地理ではさまざまな統計表やグラフを読み取る問題が見られる。
- 歴史は年代整序や時期を判断する問題があるので，歴史の流れを理解しておく。

★山形県の入試は、『社会の新研究』でバッチリ！

■ 資料読み取り問題の出題

・地形図，雨温図，統計表などの複数の資料から考察する問題が出題されるため，様々な資料を読み取る力が必要。



新研究で対策！

- 解説ページの「入試によく出る資料読取」コーナーで，よく出る資料の読み取り問題を出題しています。
- 「フォロー特集 わかる！さまざまなグラフの読み取り方」(p. 24～25)で，いろいろなグラフの読み取り方をおさえられます。
- 「資料活用問題に強くなろう！」(p. 178～183)は，例題で読み取りの基礎をおさえたと，最新入試問題で練習ができるように工夫しています。

■ 歴史の時代関係の問題の出題

・例年，歴史でおもなできごとの並べかえ問題が出題されているため，テーマごとに歴史の流れをおさえる対策が有効。



新研究で対策！

- 「特集 流れでみる歴史」(p. 114～119)で，同時代のできごとを整理。「ふりかえりチェック 歴史年表編」(p. 120～121)で，すべての時代の流れをつかむことができます。
- 「並べかえ問題に強くなろう！」(p. 190～191)では最新の入試問題で並べかえ問題がしっかり練習できます。

★新研究で出題した山形県の入試問題(令和7年度)

◆p.85 大問1 ◆p.185 大問4 ◆p.189 大問7

山形県の入試傾向に完全対応！
新しい『社会の新研究』をお薦めします！



★山形県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

単元名／項目		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	地理的分野	世界の姿	●	●	●
		日本の姿	●		
		世界各地の人々の生活と環境	●		●
		アジア州		●	
		ヨーロッパ州，アフリカ州		●	●
		北アメリカ州，南アメリカ州，オセアニア州	●	●	●
		地域調査の手法		●	
		日本の自然，人口	●	●	●
		日本の資源・産業，世界との結びつき	●	●	●
		九州地方，中国・四国地方	●		●
		近畿地方，中部地方			●
		関東地方，東北地方，北海道地方		●	●
	歴史的分野	文明のおこりと日本		●	
		古代国家の歩み	●	●	●
		中世社会の展開	●	●	●
		ヨーロッパ人との出会いと全国統一	●		
		近世社会の発展		●	●
		近代ヨーロッパと日本の開国	●		●
		近代日本の歩み	●	●	●
		二度の世界大戦と日本	●	●	●
		現代の日本と世界	●	●	●
出題形式別の傾向	公民的分野	現代社会と私たちの生活			
		個人の尊重と日本国憲法		●	●
		現代の民主政治，国会	●	●	●
		内閣・裁判所，三権分立	●	●	●
		地方自治	●		●
		消費生活と流通・生産，市場経済と金融	●	●	●
		財政，国民生活と福祉	●	●	●
		地球社会と私たち	●	●	●
		分野統合			
		大問数	6	6	6
		小問数	39	39	41
		記号解答	17	16	18
		用語記述	16	15	14
		文章記述	6	8	9
		作業・作図			